

各 位

会社名 株式会社バルコス  
 (コード番号 7790 TOKYO PRO Market)  
 代表者名 代表取締役社長 山本 敬  
 問合せ先 執行役員管理部長 佐伯 英樹  
 TEL 0858-48-1440  
 URL <https://www.barcos.jp/>

## 令和6年12月期の業績予想について

令和6年12月期（令和6年1月1日から令和6年12月31日まで）における当社グループの連結業績予想は以下のとおりであります。

【連結】

(単位: 百万円、%)

項 目	令和6年12月期 (予想)			令和6年12月期 第3四半期連結累計期間 (実績)		令和5年12月期 (実績)	
	売上 高比率	対前期 増減率		対売上 高比率		対売上 高比率	
売 上 高	4,913	100.0	27.4	3,514	100.0	3,857	100.0
営 業 利 益	254	5.2	114.3	154	4.4	118	3.1
経 常 利 益	240	4.9	99.9	146	4.2	120	3.1
親会社株主に帰 属する当期 (四半期)純利益	130	2.6	203.6	66	1.9	42	1.1
1株当たり 当期(四半期)純 利 益	114円04銭			58円76銭		37円56銭	
1株当たり 配 当 金	—			—		—	

(注) 令和5年12月期(実績)及び令和6年12月期第3四半期連結累計期間(実績)の1株当たり当期(四半期)純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。令和6年12月期(予想)の1株当たり当期純利益は予想期中平均発行済株式数により算出しております。なお、当社は基準日(令和6年12月31日)を超えての新株式発行となることから、令和6年12月期(予想)において、発行済株式総数の増加は見込んでおりません。

## 【令和6年12月期業績予想の前提条件】

### 1. 当社グループの見通し

当社グループは、当社及び連結子会社8社（株式会社アイ・シー・オー、株式会社ファッションニュース通信社、株式会社バルコス旅館三朝荘、BARCOS HONG KONG LIMITED、広州巴可斯商貿有限公司、株式会社トリプル・オー、株式会社BFLAT、株式会社immunity）で構成されており、（1）ライフスタイル提案事業、（2）メディアクリエイティブ事業、（3）ディベロップメント事業を展開しております。

#### （1）ライフスタイル提案事業

ライフスタイル提案事業では、「美しく豊かに暮らす」をコンセプトにバック、財布、服飾雑貨等の企画、店舗及びECサイト、テレビ、新聞・雑誌等のメディアを通じた販売を行っております。

##### ①バック、財布等の販売

###### （A）バック、財布等のデザインの企画

日本のデザインチームが企画及びデザインしたサンプルを、中国広州にある自社のサンプル工場で作成しております。サンプルの修正作業等も迅速に行い、通常1か月間かかるサンプル製造を、1週間程度に短縮することで、製品化へのスピードを速くできる仕組みを構築しております。サンプル製作後の本生産につきましては、価格、納期、クオリティに応じて、主に中国、バングラデシュ、日本の中から最適な生産協力工場へ依頼することで、品質の維持に努めております。

###### （B）販売

海外工場で作成された財布、バック等を国内に仕入れた後は、インフォマーシャル（※1）、ECサイト（※2）、店舗、新聞・雑誌等のメディアを通じて販売を行っております。

また、山陰エリアを中心に直営店やショッピングセンター、百貨店等のテナントショップを出店しており、店舗販売を行っております。

※1 「情報」という意味のインフォメーションと、「広告」という意味のコマーシャルを掛け合わせた造語であり、15秒や30秒のテレビCMとは異なり、29分の通販番組のこと。

※2 公式オンラインショップ、Yahoo!ショッピング、楽天市場、ZOZOTOWN等

##### ②服飾雑貨等の販売

服飾雑貨等の販売は、主として令和5年4月に当社グループに加わった株式会社BFLATにおいて行われております。株式会社BFLATは、主として女性向けのカジュアルウェアやオケーションウェアを、楽天市場やZOZOTOWN等のECサイトを通じて販売を行っております。

## (2) メディアクリエイティブ事業

当社グループでは、令和3年1月にWEBメディアで情報発信する新規事業を行うため、新会社「株式会社ファッションニュース通信社」を設立し、ファッション関連情報を発信するWEBメディア「CoordiSnap」と「fashion trend news」を運営しております。また、株式会社ファッションニュース通信社は、令和5年3月に株式会社コリーよりWEBメディアを事業譲受し、サッカー関連情報を発信するWEBメディア「Qoly」を運営しております。

さらに、当社グループでは、令和5年4月に当社グループに加わった株式会社トリプル・オーにおいて映像、ポスター、CDジャケット、グラフィックデザイン、イベントプロデュース、番組ディレクション、ロゴデザイン、パンフレットデザイン等の企画、管理、制作を行っております。

## (3) ディベロップメント事業

ディベロップメント事業では、主に東京都、大阪府のオフィスビル、事務所、マンション等の収益物件の賃貸を行っており、安定的な賃貸収入を得ております。また、鳥取県では、本社に Barcos Coffee を併設し、飲食店の運営を外部に委託することで賃貸収入を得ております。

さらに、令和3年12月に当社グループに加わった株式会社バルコス旅館三朝荘において、BARCOS RYOKAN 三朝荘の運営を外部に委託することで賃貸収入を得ております。

このような状況の下、当社の令和6年12月期の業績予想は、売上高は4,913百万円（前期比27.4%増）、営業利益は254百万円（同114.3%増）、経常利益は240百万円（同99.9%増）、当期純利益は130百万円（同203.6%増）を見込んでおります。

## 2. 業績予想の前提条件

### (1) 売上高

#### ①ライフスタイル提案事業

##### (A)インフォマーシャル

当社グループの中核を成す事業で、インフォマーシャルはテレビの通販番組を放送し、コールセンターで顧客からの注文を受けます。テレビに投資した広告費に対する売上高の比率（MR：Media Ration）を常にモニタリングし、より効率の良い時間、地域、媒体を分析することでより高い利益の獲得を目指しております。令和6年12月期は媒体費を毎月4,000万円から6,000万円と設定し、平均MR2.1という高い効率を維持しつつ、適切なコスト管理を行ってまいります。

##### (B)新聞

新聞は、全国紙や地方紙に5段広告や15段広告を出稿し、コールセンターで顧

客からの注文を受けます。スマートフォンで新聞を読むことが増えてきており紙媒体の新聞離れが進んできておりますが、依然として信頼性の高いメディアであります。令和6年12月期は媒体費を毎月2,500万円前後に設定し、平均MR1.9を維持する計画を立てております。

(C) E C

E Cでは、インフォーマーシャルや、新聞広告を見た顧客がネットで注文する際の受け皿となっている他、LINE や Facebook、Instagram などE C独自の広告を展開し、テレビ、新聞に代わるメディアとして今後の成長戦略として強化しております。令和6年12月期は毎月600万円前後の広告費を投資し、平均MR4.1以上を計画しております。

(D) 店舗

既存店舗については、前年実績を基に安定した計画を立てております。また、新型コロナウイルス感染症の終息に伴い、新規店舗の出店を計画しております。今後も安定的な事業運営の礎として店舗を拡大していく方針であります。

(E) B to B

当社グループの販売形態がB to Cへと移行していく中、以前より取引を継続している取引先とは引き続き取引を行っていく計画を立てております。

(F) 服飾雑貨

当社子会社の株式会社BFLATでは、ZOZOTOWNを主軸にE Cモール、自社E Cサイトでの服飾雑貨の販売を行っております。これらにより、ライフスタイル提案事業の売上高は4,598百万円（前期比29.2%増）を計画しております。

②メディアクリエイティブ事業

(A) WEBメディア

当社子会社の株式会社ファッションニュース通信社では、設立当初から運営するファッションメディア「CoordiSnap」と「fashion trend news」に加え、令和5年に事業譲受をし運営するサッカーメディア「Qoly」がございます。令和6年12月期は前年実績を基に同水準の売上高を計画しております。

(B) 映像・グラフィック製作

当社子会社として令和5年4月に当社グループに加わった株式会社トリプル・オーでは、音楽業界、テレビ業界、演劇など幅広い分野でのジャケット、ポスターを製作しております。また、プロモーションビデオやテレビCMなどの映像製作なども行っております。令和6年12月期は通年を通して売上計画を見込んでおります。

これらにより、メディアクリエイティブ事業の売上高は291百万円（前期比7.2%増）を計画しております。

### ③ディベロップメント事業

ディベロップメント事業では、東京のオフィスビル、大阪の賃貸マンションや鳥取県のバルコス旅館三朝荘、バルコスコーヒーなどによる安定的な賃貸収入を計画しております。

これらにより、不動産事業の売上高は23百万円（前期比11.7%減）を計画しております。

以上のことから、売上高は4,913百万円（前期比27.4%増）を見込んでおります。

### (2) 売上原価、売上総利益

当社グループの主な売上原価は、商品仕入であり、その仕入高の約70%を海外からの輸入に依存しております。令和4年から続く為替相場のドル高円安の影響を受け令和4年は売上原価が高騰し売上総利益率が大きく低下しましたが、令和5年より売上原価の見直しを行い1年で元の水準に回復いたしました。令和6年12月期の売上原価、売上総利益も令和5年から継続している円安の為替相場の水準を維持する計画としております。

一方、国内仕入が中心の株式会社BFLATは原価率が40%と高く、今年から通年で連結に加わることから売上原価は大きく増加する計画を立てております。

以上のことから、売上原価は1,517百万円（前期比37.7%増）、売上総利益は3,396百万円（前期比23.2%増）を見込んでおります。

### (3) 販売費及び一般管理費、営業利益

当社グループの主な販売費及び一般管理費は、広告宣伝費であります。

広告宣伝費は、インフォーマーシャルの通販番組、新聞の広告出稿、LINEやFacebookのネット広告など売上に直結する変動費であり、売上拡大を計画している令和6年12月期は広告宣伝費を約80百万円増加する計画としております。

また、政府が掲げる賃上げ施策に対応するため賃上げ目標を7～10%に設定し人件費関連経費を約90百万円増加する計画としております。

以上のことから、販売費及び一般管理費は3,142百万円（前期比19.2%増）、営業利益は254百万円（前期比114.3%増）を見込んでおります。

### (4) 営業外損益、経常利益

営業外収益については、受取利息、配当金受取などにより25百万円（前期比42.5%減）を見込んでおります。

営業外費用については、支払利息などにより39百万円（前期比8.9%減）を見込んでおります。

なお、為替相場の変動による為替差益、為替差損は計画に入れておりません。

以上のことから、経常利益は240百万円（前期比99.9%増）を見込んでおります。

(5) 特別損益、親会社株主に帰属する当期純利益

特別利益については受取和解金などにより 28 百万円を見込んでおります。特別損失は、大きな発生を見込んでおりません。

以上ことから、親会社株主に帰属する当期純利益は 130 百万円（前期比 203.6%増）を見込んでおります。

**【業績予想に関するご留意事項】**

本資料に記載されている当社グループの業績予想等の将来に関する記述は、本資料の策定時点において当社が入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる可能性があります。

以上

**ご注意：**

この文章は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。令和6年12月27日の当社取締役会において決議された当社普通株式の募集及び売出しへの投資判断を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（及び訂正事項分）をご覧ください。投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（及び訂正事項分）は引受証券会社より入手することができます。また、本記者発表文に記載されている当社の計画、見積もり、予想、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社の経営成績、財政状態その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。